

JFA公認指導者 リフレッシュ研修会 (障がい者サッカー指導コース) 写真館

日 時： 平成30年11月24日(土)・25日(日)2日間コース

会 場： サンビレッジ紫波 軽運動場(講義)・多目的アリーナ(実技)

主 催： (公財)日本サッカー協会、(公社)岩手県サッカー協会

参 加 者： 24名(B級コーチC級コーチ ライセンス保持者)

講 師： 皆川 新一(JFA障がい者サッカー指導者WGメンバー/JFAキッズプロジェクトリーダー)

今堀 佳明(JFA障がい者サッカー指導者コース講師)

内 容： コーチのリフレッシュ研修会【指導実践あり2日間コース・20ポイント】

1日目 13:00～18:00 講義・実技・振り返り

2日目 9:00～16:00 指導実践・振り返り・講義

※本コース修了者は、日本障がい者サッカー連盟(JIFF)「JIFFインクルーシブフットボールコーチ」取得



【講義の様子】



【実技の様子】



<参加者から寄せられた主な感想>

- ・なぜサッカーをするのか？根本の部分は誰でも変わらないことに気づかされました。
- ・障がい者の立場を実際体験して、現状の正しい理解のスタートラインに立つことができました。
- ・障がい者サッカーは初めてで、7つの障がいの特徴や指導を理解することができました。
- ・改めて、「笑顔の大切さ」を理解しました。
- ・健常者と一緒に活動する際、障がい者の方へフォーカスしまいがちですが、普段の指導と変わらないこと、楽しさ、技術の向上を目指すものであるべきと考えるきっかけになりました。
- ・障がい者スポーツは、福祉関係と思っていたがJFAがここまで詳しく指導教本を作成していることに驚きました。
- ・とても分かりやすく楽しくサッカーができました。
- ・講師の方が、一方通行でなく、意見をくみ取り双方向で学んでいけました。説明がわかりやすかったです。
- ・**quick simple to the point** いかにかわりやすく説明するか、その技術が難しいと思いました。
- ・オープン、修正、パラレルという共にプレーする考え方が参考になりました
- ・障がい者でも、健常者でも選手たちの上手になりたい気持ち、楽しさを大切にしていきたいです。
- ・安全への配慮の大切さを学ぶことができました。
- ・講義の中では、グループワークも多くて良かったです。
- ・言葉というコミュニケーションツールの難しさを感じました。靴紐の結び方を言葉だけで伝えるのは難しかったです。
- ・指導実践で、やってみて見えていない部分に気づかされました。やりながら改善していく必要性を感じました。
- ・青森県サッカー協会でも、障がい者サッカーを担当しており、教室も運営サポートをしています。グラスルーツ宣言を受けて巡回指導、キッズフェスティバルにおいても障がいの有無に関わらず参加できる環境づくりを目指して活動しています。
- ・中学で教えた生徒が、支援学校に進学して岩手国体にも参加し、活躍していることがうれしいです。
- ・実際に障がいを持ってプレーしている選手の声を知りたいし、何を求めているか知りたいと思いました。
- ・JIFF(日本障がい者サッカー連盟)の活動取り組み状況などを知りたいと思いました。

<講師 皆川新一さん（JFA 障がい者サッカー指導者 WG メンバー/JFA キッズプロジェクトリーダー）のコメント>

“一緒に、”をキーワードに、“障がいのある選手も、ない選手、も一緒にサッカーを楽しむことはできないか？”を、講義で7つある障がいのそれぞれの特徴を学び、実技を通して、工夫をすると“一緒に、楽しめることを、2日間、24名の受講者と共に学びました。受講者の積極的に取り組む姿勢が、多くのディスカッションとなり、さまざまな状況への対応について我々インストラクターも多くのことを学ぶことができました。今回、準備から開催までご尽力いただいた岩手県 FA の関係者各位、並びに受講生 24 名の方々に、感謝申し上げます。ありがとうございました。

<講師 今堀佳明さん（JFA 障がい者サッカー指導者コース講師）のコメント>

「障がいを持つ選手のニーズへの対応」「コミュニケーションスキル」「安全面への配慮事項」などについて 24 名の受講者が講義・実技・指導実践に熱心に取り組まれました。また、我々も受講者の方から多くことを学ばせていただいた講習会でした。受講者の皆様方に「障がい者サッカー指導の考え方」を広めていただくことが「障がいのある人、ない人が一緒になって気軽にスポーツが楽しめる社会」を実現することになると信じています。受講者の皆様方ありがとうございました。最後になりましたが、準備から開催までご尽力いただいた岩手県 FA スタッフの皆様方に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。